

内野泰助(うちの たいすけ)

2010 年度 COE フェロー

連絡先: taisukeuchino[at]gmail.com ※[at]を@に変更してください

専攻分野: 金融論, 応用計量経済学

研究テーマ: 日本経済に関する実証分析

(為替レートおよび原油価格の国内物価へのパススルーに関する実証分析, 銀行行動および銀行・企業関係に関する実証分析)

博士学位請求論文題目(仮題): 家計・金融機関・企業の資産選択と価格設定: 日本のミクロ及び産業レベルデータを用いた実証分析

学歴

2006 年 3 月 立教大学経済学部経済学科卒業, 経済学士

2006 年 4 月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程応用経済専攻入学

2008 年 3 月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程応用経済専攻修了, 経済学修士

2008 年 4 月 一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程経済理論・経済統計専攻入学

現在 同課程在学中

職歴

2008 年 4 月～現在

日本銀行調査統計局短期リサーチスタッフ

2008 年 4 月～2008 年 8 月

一橋大学大学院経済学研究科 TA (上級マクロ経済学担当)

2008 年 10 月～現在

一橋大学グローバル COE 「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」 COE フェロー

2009 年 4 月～2008 年 8 月

一橋大学大学院経済学研究科 TA (上級マクロ経済学担当)

研究業績

(1)論文・ディスカッションペーパー等

[1] Shioji, Etsuro and Taisuke Uchino. "Pass-through of oil prices to Japanese domestic prices, *NBER Working Paper Series*, No.15888. (forthcoming in Takatoshi Ito and Andrew K. Rose(ed.), *Commodity Prices and Markets*, NBER-EASE, Vol 20, University of Chicago Press.) [査読付き]

[2] 塩路悦朗・内野泰助(2010). 「類別名目実効為替レートの構築とパススルーの再検証」, 『経済研究』, 第 61 巻, pp.47-67. [査読付き]

[3] 内野泰助(2009). 「預金構成の変化が銀行の現金・準備預金保有行動に与える影響: 銀

行の財務パネルデータによる実証分析」, Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series, No. 27.

[査読なし]

[4] 塩路悦朗・内野泰助(2009). 「為替レートと原油価格変動のパススルーは変化したか」, 日本銀行ワーキングペーパーシリーズ, No.09-J-8. [査読なし]

(2)学会報告など

[1] 「預金構成の変化が銀行の現金・準備預金保有行動に与える影響」, 『日本金融学会』, 2008年秋季大会報告, 広島大学, 2008年10月. 単著. [査読付き]

[2] 「家計の資産選択行動における学歴効果の再考」, 『日本金融学会』, 2009年度秋季大会報告, 香川大学, 2009年11月. 北村行伸氏と共著. [査読付き]

[3] 「銀行合併は銀行・企業関係にどのような影響を与えるか：非上場企業のパネルデータによる実証分析」, 『大阪大学 GCOE プログラム：第4回若手経済学者のためのマクロ経済学コンファレンス』, 大阪大学, 2010年3月. 植杉威一郎氏と共著. [査読なし]

[4] 「銀行合併は銀行・企業関係にどのような影響を与えるか：非上場企業のパネルデータによる実証分析」, 『応用経済学ワークショップ』, 日本政策投資銀行設備投資研究所, 2010年5月. 植杉威一郎氏と共著. [査読なし]

照会先：塩路悦朗(一橋大学大学院経済学研究科教授), 北村行伸(一橋大学経済研究所教授)